



# TOUR DE HOKKAIDO

## ツール・ド・北海道2018の概要

### 1 ツール・ド・北海道

ツール・ド・北海道は、1987年10月に日本最初の自転車ステージレースとして開催されてから今回で32回目を迎えます。第1回大会からは、国際自転車競技連合(UCI)の公認大会として承認され、国際大会としても22回目を迎え、海外からも多数のチームが参加を希望するなどいまや国内有数のステージレースになっています。

また、多くのサイクリストが自由に参加できる市民レースを同時開催します。

本大会の開催により、参加選手の競技力向上と人材育成、サイクルスポーツの普及・振興等を図るとともに、地域の観光・産業の振興、活性化等に資することをも目的としています。

### 2 大会概要と日程

#### 《国際大会》

##### ■ 開催期間

9月7日(金)から9月9日(日)までの3日間

##### ■ 開会式

9月7日(金) 8時30分～9時00分

旭川市「総合防災センター駐車場特設会場」

##### ■ 各ステージの日程

- 第1ステージ(ロードレース) 9月7日(金)(185km)  
旭川市(S:総合防災センター前9:30)～東神楽町～東川町～美瑛町～上富良野町  
～中富良野町～富良野市～南富良野町～新得町(F:保健福祉センター前13:59ころ)
- 第2ステージ(ロードレース) 9月8日(土)(174km)  
帯広市(S:帯広競馬場前9:30)～音更町～士幌町～上士幌町～上川町～北見市(F:  
留辺蘂町旭運動公園前13:42ころ)
- 第3ステージ(ロードレース) 9月9日(日)(177km)  
北見市(S:温水プール前9:30)～訓子府町～置戸町～北見市～遠軽町～上川町～  
愛別町～当麻町(F:とうまスポーツランド13:45ころ)

##### ■ 出場予定チーム

海外及び国内から合計20チーム、100人の選手の出場を予定しています。

##### ■ 表彰式

表彰式は、各ステージのフィニッシュ地点特設会場においてそれぞれ行います。

##### ■ 最終表彰式

9月9日(日) 15時00分～15時30分

当麻町「とうまスポーツランド駐車場特設会場」

## 各ステージの概要

### ○ 第1ステージ

第1ステージは、旭川市(総合防災センター前)からスタートして、東神楽町、東川町を疾走し美瑛町に入ります。美瑛自然の村キャンプ場入口 KOM (標高 766m 地点) で最初の山岳ポイントを競った後、白金温泉郷から道道 966 号 (十勝岳温泉美瑛線) に入り、十勝岳連峰の主峰十勝岳の中腹に向かいます。今大会最初の難所、吹上温泉先の十勝岳 KOM (標高 1,050m 地点) で2回目の山岳ポイントを競い、道道 291 号 (吹上上富良野線) を上富良野町市街まで一気に下って道道 298 号 (上富良野旭中富良野線) に入り、中富良野町で補給を受けた後、道道 253 号 (東山富良野停車場線) 沿いの富良野市麓郷を駆け抜け富良野市西達布から国道 38 号に入ります。南富良野町「道の駅南ふらの」前を通過し、狩勝峠の KOM (標高 642m 地点) で本ステージ3回目の山岳ポイントを競った後、狩勝峠を一気に下って平坦コースを疾走し、新得町保健福祉センター前でフィニッシュする 185 kmの本大会最長コースです。第1ステージは、千メートルを超える十勝岳 KOM が序盤に設定されており、選手の完走を阻む第一関門になります。また、新得町最後の直線道路でのゴールスプリント争いも見ものです。



### ○ 第2ステージ

第2ステージは、帯広市(帯広競馬場前)からスタートして、すずらん大橋を渡って道道 337 号 (上士幌士幌音更線) に入り、音更町、士幌町を通過して上士幌町に入ります。上士幌町7区の道道で中間スプリントを競った後、国道 273 号を北上して東大雪の大自然に抱かれた「ぬかびら源泉郷」を通り、道内の国道で最も高い最大の難所「三国峠」に向かいます。途中、十勝三股で補給を受け三国峠展望台前 KOM (標高 1,137m 地点) で本ステージ最初の山岳ポイントを競います。その後三国トンネルをくぐり抜け、上川町の石狩川最上流部に位置する大雪ダムのほつりを回って国道 39 号に入り、「石北峠」に向かいます。石北峠 KOM (標高 1,040m 地点) で本ステージ2回目の山岳ポイントを競った後、石北峠を一気に下って温根湯温泉街に併走する農道を疾走し、北見市(留辺薬町旭運動公園前)でフィニッシュする 174 kmのコースです。第2ステージは、千メートル超の峠2箇所を越える最も過酷な山岳コースです。



### ○ 第3ステージ

第3ステージは、北見市(温水プール前)からスタートして、国道 39 号、道道 941 号 (北見環状線) を通って訓子府町、置戸町の郊外を駆け抜け、北見市留辺薬町から国道 242 号に入り遠軽町に向います。遠軽町生田原総合支所前で中間スプリントを競った後、国道 333 号を西進して遠軽町丸瀬布総合支所前で本ステージ2回目の中間スプリントを競います。さらに白滝ジオパーク前で補給を受けた後、急な坂道を上って北見峠 KOM (標高 857m 地点) で山岳ポイントを競います。北見峠を越えると徐々に下って国道 273 号に入り、上川町市街の国道 39 号を右折してしばらく平坦基調のコースが続きレースの終盤を迎え



2002 年大会の様様 北見市民会館前

ます。総合優勝を目指すチームがどこで仕掛けるのか注目される地点に入りますが、最後は当麻町（とうまスポーツランド）でフィニッシュし、念願の大雪山国立公園一周536kmを走破します。

## 《市民レース大会》

### ■ 開催期間

9月8日(土)から9月9日(日)までの2日間

### ■ 開会式

9月8日(土) 11時30分～11時50分

旭川市「石狩川河川敷地特設会場」

### ■ 市民レースの日程

- タイムトライアル 9月8日(土) 12時00分～

旭川市「石狩川河川敷地特設コース」(2.2km)

- ロードレース 9月9日(日)

【Aクラス】(93km)

遠軽町(S:丸瀬布総合支所前8:00)～上川町～愛別町～当麻町(F:とうまスポーツランド10:50～11:11ころ)

【Bクラス】(75km)

遠軽町(S:白滝ジオパーク前8:40)～上川町～愛別町～当麻町(F:とうまスポーツランド11:06～11:26ころ)

【Cクラス】(33km)

上川町(S:総合体育館前8:00)～愛別町～当麻町(F:とうまスポーツランド9:13～9:22ころ)

### ■ クラス区分

性別、年齢、経験及び能力によりクラス分けを行います。

### ■ 競技の概要

- タイムトライアルは、旭川市の「石狩川河川敷地特設コース」において、石狩川右岸の新橋付近と金星橋間往復2.2kmのフラットなコースでベストタイムを競います。
- 市民ロードレースのAクラスは遠軽町(丸瀬布総合支所前)、Bクラスは遠軽町(白滝ジオパーク前)をそれぞれスタートして国道333号を西進し、ロードレース最大の難所となる北見峠(標高857m地点)において山岳ポイントを競います。峠を下り切ると上川地方の比較的平坦基調のコースを駆け抜け、当麻町(とうまスポーツランド)のゴールを目指します。Cクラスは上川町(総合体育館前)からスタートして国道39号に入り、愛別町から道道140号(愛別当麻旭川線)を駆け抜け、当麻町(とうまスポーツランド)でフィニッシュします。いずれも国際レース第3ステージのコースの一部を使用するため、本格的なロードレースの醍醐味を体感することができます。

### ■ 参加募集人員

本年の市民参加募集人員は、1,100人程度を予定しています。

### ■ 参加募集期間

6月1日(金)から7月17日(火)まで

※ 募集要項は、5月下旬に(公財)ツール・ド・北海道協会ホームページに掲載します。

(募集人員に達し次第締め切ります。)

<http://www.tour-de-hokkaido.or.jp>

### 3 コース図

ツール・ド・北海道2018のコース図は、当協会ホームページの「コース情報」にアップしますのでご確認ください。

問い合わせ先

札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル5F

公益財団法人ツール・ド・北海道協会

TEL 011-222-5922

FAX 011-232-4604